



真享四年

真享四年

JAMES  
6





納奉



納奉

鳥居  
拝所  
本殿  
境内  
案内

明石市指定文化財

(昭和五十二年度)

建造物「住吉神社の楼門」

一、二階づくり門で豪壮。

江戸時代初期の建立です。

住吉

一、棟札に慶安元年(一六四八)

建立・元禄四年(一六九二)

修理と記録されている。

明石市教育委員会



縣社 住吉神社

神樂

神樂





縣社 伊弉志神社























ふるさとの巨樹保存事業

ふるさとの巨樹保存事業



## 神木被除はらいの藤由来

古昔いにしへ撰津の堺に祀まつられた住吉大神があるとき「播磨の国に渡り住はむ、

藤の枝の流れ着いたところに我をいわい祀まつれ」とお告げを出された。

そこで藤の大枝を切って海に浮べた

藤は当地方に流れ着いたので明石郡

魚次浜なすきのほま一処（現在の魚住町と大久保町

南部）を神領地と定められて当神社が

お祀まつりされました（住吉大社神代記より）

住吉大神はお被はらいの御神徳を有せられる

神様であり藤は住吉大神の神木であります。

この藤は明治中期頃に中尾村西海音助宮総代が名木を探して献樹したものである。





